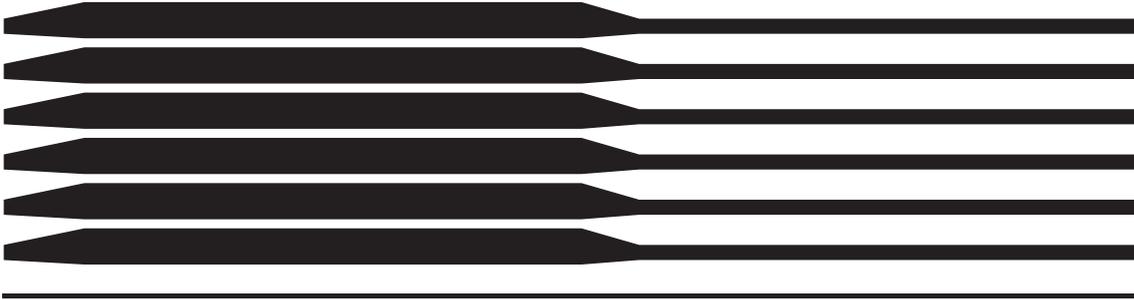


site plan



elevation diagram

環状八号線は24時間365日、交通が絶えることのない幹線道路である。そんな環状八号線に面し、背後で小さな区立公園と隣接する間口約45m奥行4~5mという細長い土地が売りに出された。その土地をデベロッパーが購入し事業化するための計画案である。立地的に商業系の需要は見込めず、また、一般的な集合住宅では効率よく床面積を確保することができないため、一般にゲストハウスやドミトリーと呼ばれる寄宿舍を提案した。これらは、昨今、従来の安宿のイメージから脱却し、共同生活の経済性、利便性、同居者とのコミュニケーションに価値を求める、新しいライフスタイルとして注目されている。プランは3つに区画した上で、中央部を両端部から階高の半分のレベル差をつけて、階段によって緩やかにつないでいる。中央部をパブリックスペース、両端部をプライベートスペースとしているが、どちらも自由に間仕切って使うことができる。環状八号線側は開口を低く、反対の区立公園側は開口を高く取り、妻側でテーパーをつけることによって、これを連続させている。グラウンドレベルでは階段周りのコアを残して、両端をキャンチレバーとして浮かせ、この施設に関係のない人でも環状八号線と公園との間を行き来できる計画としている。

プロジェクト名 : 環8ドミトリー  
所在地 : 東京都杉並区  
建築用途 : 寄宿舍  
構造 : 鉄骨造  
規模 : 地上6階  
建築面積 : 137.70m<sup>2</sup>  
延床面積 : 640.86m<sup>2</sup>  
完成 : 計画中止